

「秋豆」レシピ教えます

かわだ たくお
川田 拓生さん(43歳)

春野地区より



両親、妻とパートさんを含めて11人で秋豆を作ってます。秋豆はメジャーとは言えない野菜ですが、どんな料理にも合う優れたものです。一番のおススメは、ヘタとしっぽを切って揚げた天ぷら！ニンジンと一緒にきんぴらにしてもいいですし、ペペロンチーノに入れても美味しいです。

水と肥料管理が難しく手間のかかる秋豆栽培ですが、「春の里」以外にも、「とさのさと」や県内スーパーの生産者コーナーに出荷しているの、ぜひ一度手に取ってみてください。農閑期には、子ども2人を連れて家族4人で旅行に出かけることが楽しみのひとつです。今はコロナ禍なので、県内を観光したり、家族の時間を大事にしています。

「食」の大切さを感じる この仕事大好きです

ひろまつ えりこ
廣松 枝里子さん(25歳)

高知地区より



栄養士として働き始めて5年が経ちました。小さい頃から料理をする両親や祖母の姿を見て「食」に対する興味は人一倍多かったです。そんな私を近くで見ている看護師の母から、「将来は管理栄養士になったら？」と勧められて今の仕事に就きました。栄養士は、縁の下の力持ちだと思っています。日常生活を通して、体調面を看護師・多職種と相談しながら入居者さんにあった食事を考え提供しています。この仕事を通して、食べる物が人の体をつくっていることを痛感しています。

趣味は15年習ったピアノ！悩みがなさそうに見られるのですが、行き詰まった時はピアノを弾いてストレスを発散しています。来年こそは、管理栄養士の資格を取得して、更に知識を深めたいです。

高知
地区

から こんにちわ
今月の〇〇 気になる人

春野地区より



地域を元気に！「万葉太鼓」

(左から) よしばたけみく 横島 美紅さん (35歳)
おおはらめぐみ 大原 恵さん (37歳)
たむら せいじ 田村 征路さん (51歳) リーダー
やまなか こうへい 山中 康平さん (42歳)
にしむら えりな 西村 栄里奈さん(40歳)
はまむら けいこ 浜村 景子さん (31歳)
(中央前) しんがい ひろひこ 新階 博彦さん (69歳) マネージャー

チーム「万葉太鼓」は、平成12年に結成し地域のイベントなどで演奏していました。5年ほどの活動休止を経て、令和元年度に自治会が企画した防災フェスティバルへの参加をきっかけに、新メンバーで復活しました。現在、7人で元気に活動中です！リーダーはドラム経験者ですが、それ以外のメンバーは太鼓初心者でした。とにかく和気あいあいと楽しい練習は、毎週金曜19時半から仁ノ公民館で行っています。次回の出演は、8月1日(日)開催予定の仁ノ八幡宮の夏祭り。演奏曲は、「黒潮の流れ」「万葉音頭」「仁ノ万葉太鼓」を予定しています。「仁ノ万葉太鼓」は、西分の「あじさい太鼓」の明神宏和(みょうじんひろかず)先生が私達のために書いて下さった曲です。

※太鼓に興味があり、練習に参加希望の方はぜひご連絡ください(090-4798-3139・新階)。

趣味はカマス釣り！

(右) のむらとしお 野村 俊夫さん(58歳)
(左) のむら ふみたか 野村 史孝さん(34歳)

春野園芸部きゅうり部会香我美支部に所属しています。18歳から就農して40年が経ちました。最初はメロンを育てていましたが、今は30アールのハウスでキュウリを作っています。5年前に大阪で暮らしていた長男が戻ってきてからは、長男を含めて家族4人で経営しています。

昔、苗を植えた2日後に竜巻でハウスが飛ばされたことがありましたが、それ以外は大きな自然災害にも遭わずに栽培ができています。夏から秋にかけては、時間的に少し余裕ができるので、その時期が来ると大好きな釣りを楽しんでいます。ルアーを使ったカマス釣りにハマっていて、釣った魚は友人がさばいて干物してくれます。普段から肉よりは魚を好んで食べるので、釣りができるこの時期をとっても楽しみにしています。

春野園芸部より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



手作りの昼食と一緒に、いただきます！

1 高知地区

第1期生卒業 あぐりスクール修了式を開催

高知市の県立ふくし交流プラザで2月22日、親子あぐりスクール第5回目の活動と修了式が開かれました。親子24人が参加し、調理実習や記念品づくりを行いました。

高知市の県立ふくし交流プラザで2月22日、親子あぐりスクール第5回目の活動と修了式が開かれました。親子24人が参加し、調理実習や記念品づくりを行いました。



野菜を切ったり盛り付けをする参加者

2 高知地区

男の料理教室 簡単パーティ料理学ぶ

高知市のアグリコレットで2月24日、男の料理教室が開かれ、40代から70代の男性8人が参加しました。「男のパーティ料理」と題してトマトやセリなど高知の食材を調理しました。

2016年に発行したレシピ本「うちでこはん」を参考にしています。参加者は「ピザがこんなに簡単にできると知った」「一度習った料理はスムーズに作ることができる。もっと料理を学びたい」と話しました。教室は食と農の情報発信と、JAについて理解を深めてもらうことが目的。全5回開催で、最終回は「男のおもてなし料理」を予定しています。



花を生けたりりーアンバサダー2人

3 高知地区

県産花きの魅力伝える 牧野植物園で生け花展示

JAグループ高知と高知県で構成する県園芸品販売協会は2月17日から21日まで、県産ユリをメインとした「Terryland（リリーランド）」と人と自然の共生をテーマに開催しました。今回の展示は、同協議会で行っている県産花のPRと消費拡大を目的とした取り組みの一環として実施。県立牧野植物園の映像ホールで、生け花の展示を行いました。

With flowers 高知のユリをおうちで楽しむ」で、装飾を行ったリリーアンバサダー2名が担当。約1000本のユリをはじめ、グロリオサやブルースター、かすみ草など県産花約1000本を使用して仕上げられています。リリーアンバサダーで生花店を営む橋田智彰さんは「観る角度によって多様な組み合わせの花々が楽しめるよう意識した。ここで観た花に興味をもってもらい、家に飾るきっかけや、生け方の手助けになれば」と話しました。

4 高知地区

正確性、速さ競う 農産物鑑定会



試料の品質を鑑定する検査員

JA教育研修センターで2月12日、農産物鑑定会が開かれました。JAの農産物検査員の資格を持つ76人が参加し、玄米の等級判定の正確さや速さを競いました。

「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「よさ恋美人」など水稲うるち玄米35点、水稲うるちもち玄米5点を鑑定し、30分の制限時間内に試料の等級・格付を行いました。最高得点者に津野山営農経済センターの氏原和幸さん、次点は香美営農経済センターの猪野望さんが選ばれました。JA米穀課は「鑑定会を通じて全体の検査技術を高めたい」と話しました。

5 JA高知女性組織協議会

体験発表者に鎌倉京子さん



体験発表をする鎌倉京子支部長

JA教育研修センターで2月16日、高知県JA女性セミナーが開かれました。コロナ対策として少人数で開催し、女性協役員ら約20人が参加しました。体験発表では、JA高知市女性部鏡支部の鎌倉京子支部長が最優秀賞に選ばれました。「Big history of smaller branches」（小さな支所の大きな歴史）と題して特産の梅干しを積極的に売り出し、海外で高知フェアを開くなど、活発な支部の活動を披露しました。鎌倉支部長は、中四国地区で開催されるリリーアンバサダー研修会（7月、山口県）で県代表として発表します。

高知農業改良普及所より

IoTプロジェクトの 推進と取組について

「データ駆動型農業」による営農支援



●IoTプロジェクトについて

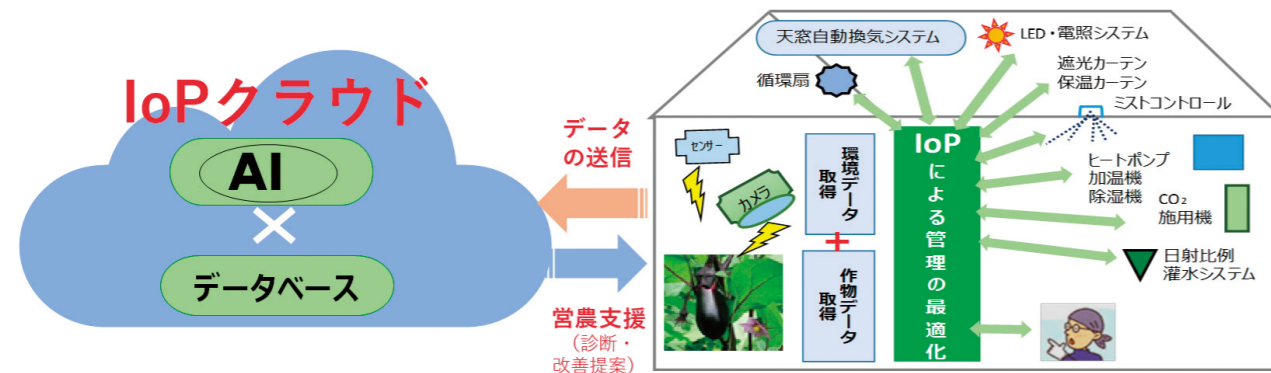
これまで高知県の施設園芸では、オランダの先進技術を本県の参考に気候条件等に合った、環境制御技術の確立を進めてきました。その結果、ハウス内環境の見える化や学び教え合う場の活用等により普及が進み成功事例も生まれた一方、生産者間のレベル差の拡大も見受けられます。

IoTは、Internet of Plantsの略で、ハウス内をデータで管理して、有益な情報を生産者間で共有しようという取組です。水やりタイミングや温度管理を自動化したり、収量の増減や出荷の予測、新規就農者のハードルを下げる情報共有などを目指します。

園芸作物の生理・生育情報のAIによる可視化と利活用を実現するIoTによって、農業者がより楽しく、より楽に、儲けることを目指します。

●春野地域での取組について

R2年度に、まずはキュウリ生産者16戸、トマト生産者4戸のハウスをIoTクラウド（名称：サワチ）に接続し、クラウド利用を開始しました。IoTクラウドに接続したハウスでは、環境・収量・経費などの見える化とともに、詳細な微気象データも閲覧できます。



●今後の展開について

農業者がパソコンやスマホから、自らのハウスの情報などの有益な情報に簡単にアクセスできる仕組みを整え、県全体でデータ駆動型農業への転換を進めます。高知県の施設園芸ブランドをより強固にし、農業者の所得向上を目指し、IoTプロジェクトを推進していきますので、農業者のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先 高知県中央西農業振興センター高知農業改良普及所
電話 088-861-0711 FAX 088-861-0660



鳥獣被害対策専門員からのお知らせ



鳥獣被害対策専門員 よこさこ ゆうた
横佐古 優太
携帯電話:090-3189-0373

事業を活用して防護柵を設置しよう

イノシシ被害を防ぐために最も有効な対策として、ワイヤーメッシュ柵や電気柵の設置があります。「でも柵の購入にお金がかかるから…」とためらっている方に朗報です。高知県の多くの市町村には、柵の資材費の一部を補助してくれる事業があります。

申請の流れは、以下のようになります。

- ①お住まいの市町村役場の担当課に連絡し、事業を活用したい旨を伝える。
- ②圃場の計測や圃場の写真を撮る。
- ③必要な書類を揃えて、市町村役場の担当課に提出する。
- ④役場の許可が下りたら、資材を購入し設置を行う。

※ただし、金額・面積にかかわらず、栽培したものを販売している方が対象となっています。ご注意ください。



中には「柵の設置の仕方が分からない」という人もおられると思います。鳥獣被害対策専門員は柵の設置時に現地に向い、設置方法の指導を行っておりますのでご安心ください。

事業の申請時期は、多くの市町村で4月～5月から開始となっております。興味のある方はぜひご連絡ください。

ストップ！ 農作業事故

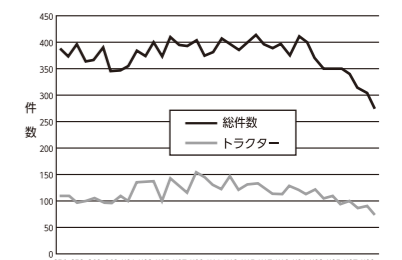
近年の農作業死亡事故の分析(1)

人間工学専門家●石川 文武

農林水産省から発表された農作業事故調査結果報告書をベースとしてさまざまな角度から考察した内容を解説していきます。報告書は、農作業事故死亡者を人口動態統計から閲覧・取りまとめたもので、死亡小票に記載漏れがある場合には、農作業事故として抽出されていないものもあります。このことは、救急隊の搬送記録に基づく事例数と乖離（かいり）していることが指摘されているところですが、現状の調査方法ではやむを得ないと考えています。また、抽出結果を客観的に取りまとめたにすぎず、背景について説明は付されていません。過去のデータと併せて、石川なりの分析を示すこととしました。

2009（平成21）年ころまで年間400人の死者が出ているといわれていました。2010年以降は減少傾向が見られます。しかし2010年以降の総件数の減少傾向に比べてトラクター死亡件数の減少速度が鈍いことが読み取れます。トラクター死亡事故は転倒転落の他、装着作業機・ドライブシャフトへの巻き込まれや思わぬ前進後退によるひかれなどもあり、今後さらなる減少が望まれます。

最も多い転倒転落事故をより深く分析することにより、新たな対策例が見いだされるのではないのでしょうか。また、トラクターの転倒転落死亡事故についてもROPS（安全キャブフレーム）の普及につれてその割合は減少しつつありますが、2016（平成28）年以降はその流れが停滞しています。これは、ROPS装着車であっても、可倒式フレームを倒したまま使用したことが原因となっていることが過去の調査事例からも明らかになっています。可倒式フレームの必要性は理解できますが、IT活用による自動制御方式の導入も必要と考えます。



農作業死亡事故の推移

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「百姓」は百の姓を持つ人のことを言う。食べ物を作る、山で炭や薪など燃料を作る、機織りをして着物を作る。道具も履物も川で魚捕りも…。何でもできるから百の「姓」。いい言葉だなあと、思いました。

(高知市宮 74歳)

▼とても素敵な言葉ですね。愛情込めて作られたものに日々感謝していただくと思えました。

ミカン、ポンカン、文旦季節が移りゆく、み〜んな、うまいぜよ!!

(春野町森山 30歳)

▼直販所やスーパーの生産者コーナーを見ると、県内の野菜や果物の旬が一目瞭然。たくさん食べるぜよ!

「なす」に含まれるリンゴエステルを知る事ができて良かった。野菜は大好きなのでこれからも企画期待しています。

(高知市八反町 67歳)

▼野菜に含まれる体に嬉しい成分など、引き続き企画していくようにいたします。私も野菜が大好きです! 四季を感じながら季節野菜を楽しむのは本当に幸せですね。

「なすぶう」の餃子、なすまん、どんな味かな? 春の里で売っているといつでも買えるのね。

(春野町弘岡下 72歳)

▼残念ながら「春の里」では販売しておりませんが、とさのさと「アグリコレット」で購入可能です。私は、ピリ辛味の「なすまん」がお気に入りです。もし機会があれば買ってみてくださいね。

花が好きです。新種の花がたくさんあって、名前を覚えることより忘れる方が多いのですが、娘達が買ってきてくれる季節毎の花を見るのが日々の楽しみです。今月号のハイブリットスターチス(ピンク)いい色ですね。

(高知市永国寺町 99歳)

▼私も物忘れが激しくなってきました。花の名前は忘れても、美しい季節の花を目にした時の感動はずっと心に残っていると思います。

今まではシントウは天ぷらに2本添え物に2本位しか使っていませんでしたが、佃煮の紹介でさっそく作ってみたいと思います。どうぞコロナ禍で厳しい中ですが、頑張ってください。「高知なす」の効果に絶賛です。高血圧の私にはうれしいお知らせです。又、仕事にも役立てたいと思います。

(春野町内ノ谷 67歳)

▼シントウの佃煮をぜひ作ってみてください! 「高知なす」の効果にはほんとうに驚きます。まさに人間の体は食べるもので作られていることを痛感しますね。

離乳食期が終わり、大人と同じものが少しずつ食べれるようになってきました。今後も高知野菜を取り入れて栄養のある食事にしていきたいです。

(高知市大津甲 1歳)

▼高知で取れた栄養たっぷりの野菜をモリモリ食べて、元気に育ってくださいね。クラブや勉強も忙しいですが、時々土佐市の祖母の家へ手伝いに行きます。

(高知市二宮 14歳)

▼学校忙しそうですね! そんな中でもお手伝いされているとは素晴らしい。ぜひ時間をとってお祖母様に顔を見せに行ってくださいね。

【連絡先一覧表】

春野支所	営農経済センター
総務課 894-3033	店舗課 828-6116
信用課 894-2203	JAグリーンはるの店 828-6161
共済課 894-3304	配送部門 828-6113
金融渉外課 894-3309	重油係 828-6115
高吾サービスセンター(事故処理) 892-3605	Aコープはるの 894-2225
営農経済センター	養蠶出荷・加工場 894-5424
販売課 894-2222	はるちゃんのアイス屋 894-2760
営農渉外課 894-5660	
購買課 828-6111	JA子会社
ビニール加工場 894-4264	(株)JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212
農機センター 894-5290	ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911

INFORMATION

お知らせ

きゅうり部会よりお願い 空きハウスを探しています 空きハウス活用しませんか

新規就農者独立への取り組み

きゅうり部会では栽培面積の減少を防ぎ産地を維持することを目的に、平成24年より指導農業士の元で新規就農希望者の研修を1年間行い、終了後は独立・就農していただく取り組みを行っています。

研修終了後の新規就農者は中古ハウスを借りてきゅうり栽培をスタートします。つきましては使用していないハウスがある方、その様な情報をお持ちの方は営農渉外課(☎894-5660)へご連絡いただき新規就農者へハウスを貸していただきますようお願いいたします。

研修終了後新規就農者数・栽培面積

平成26年 1名・20%	平成27年 3名・60%	平成28年 2名・30%
平成29年 1名・29%	平成30年 1名・15%	令和1年度 1名・10%